

つ目として「接種の推進をしないこと（広報車両の使用や広報紙への記載をしないなど）」、3つ目として「接種券の一斉配布をしないこと（脂質ナノ粒子をプラットフォームとするすべての新型コロナウイルスを始める、レプリコンワクチンであるかどうかにかかわらず、これ以上、新型コロナウイルスワクチンの接種を推奨しないこと）」、以上の3項目について、本市に対し要望するもので、請願の採択に賛成・反対それぞれの立場から討論が行われ、賛成少数で不採択とされました。

▽**ケア労働者の賃上げと大幅増員、医療・介護施設への支援拡充を求める請願書**  
 本請願の主な趣旨は、まず、政府は、2024年の診療報酬・介護報酬・障害福祉報酬の改定で、賃上げに特化した「評価料」や「加算」を盛り込み、「2・5%のベースアップ目標」としていたものの、実際の診療報酬のベア評価料や介護報酬の新加算は、目標に及ばないばかりか、定期昇給分を含めても2・0%程度の賃上げにとどまったことから他産業では5から10%の賃上げが実現している中で、ケア労働者の賃金水準は全産業から大きく下回る事態となっていること。また、現在の医療・介護現場では、退職者が増加し、入職者が減少する事態が広がっている。例えば、群馬県の高齢化率は、2022年度で31・0%と全国平均を上回っているが、それに対する介護職員数は、高齢化がピークに達するとされる2040年度には7845人が不足する見通しが報道されているにもかかわらず、県内の介護福祉士養成施設では、入学者の減少が続く、新卒の介護福祉士の採用が年々困難となっている。その背景には、過酷な労働実態とそれに見合わない低賃金があることは紛れもない事実であること。さらに、コロナ禍で経験した「医療崩壊」「介護崩壊」を人員不足が原因で繰り返す

ことがないよう、また、事前災害対応や新たな感染症に備えるためにも、平常時から必要な人員体制の確保が必要であることから、1つ目として、「医療や介護現場で働くすべてのケア労働者の賃上げと医師・看護師・介護職員などの配置基準を抜本的に見直し、大幅に増員すること。また、人員確保のために必要な追加支援策を実行し、支援すること。」2つ目として、「すべての医療機関と介護事業所等を対象に、物価高騰や人件費増を補えるだけの診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬を抜本的に引き上げる臨時改定を実施すること。」以上の2項目について、国に対し意見書を提出してほしいというもので、請願の採択に賛成の立場から討論が行われ、賛成少数で不採択とされました。

▽**日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める請願書**  
 本請願の主な趣旨は、まず、世界では、核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へと進むという声があがっており、多くの国々が被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し参加しつつあること。また、唯一の被爆国である日本政府は、核兵器廃絶のため最も積極的な役割を果たすべき立場であり、国際社会からもその役割が求められていること。さらに、国内の世論調査において、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声が6割を超えていることなどから、これらの国民の声に応え、核兵器のない世界を目指す取組の先頭に立つよう日本政府及び国会に対し、核兵器禁止条約に署名・批准することを求める意見書を提出してほしいというもので、請願の採択に賛成の立場から討論が行われ、賛成少数で不採択とされました。

成島南地区にある東武小泉線成島駅の西部に位置し、成島区民会館に隣接する約600坪の竹林について、市内において高地にあり、ハザードブックにおいても安全地帯とされていることなどから、本市に対し、当該用地を購入し、災害避難広場として整備することを要望するもので、請願の採択について賛成・反対それぞれの立場から討論が行われ、賛成多数で採択とされました。

## その他

▽**邑楽館林医療企業団議会議員の選挙**  
 選挙の結果、岩上博志議員が当選されました。

▽**館林衛生施設組合議会議員の選挙**  
 選挙の結果、池森のり子議員、斉藤貢一議員、吉野高史議員が当選されました。

▽**館林地区消防組合議会議員の選挙**  
 選挙の結果、岡野陽子議員、堀口きく枝議員が当選されました。

▽**館林西部地区「災害避難広場」整備に関する請願**  
 本請願の主な趣旨は、本市